

Google Scholar の使い方

Google Scholar とは

Google とは違い、学術文献に特化して検索ができるツールです。
論文、書籍、査読前論文（プレプリント）、特許情報など、幅広い資料を検索できます。
無料で全文（フルテキスト）が利用できる場合もあります。

Google Scholar のポイント

- Google に比べて、学術情報に絞って検索ができる。
- 全文（フルテキスト）を読むことができる（公開しているもののみ）。
- 全文（フルテキスト）を公開しているサイトへのリンクが充実している。
- 引用元や被引用文献で他の論文をたどることができる。

基本的な検索の仕方

Google Scholar にアクセスします <https://scholar.google.com/>



1. キーワード入力

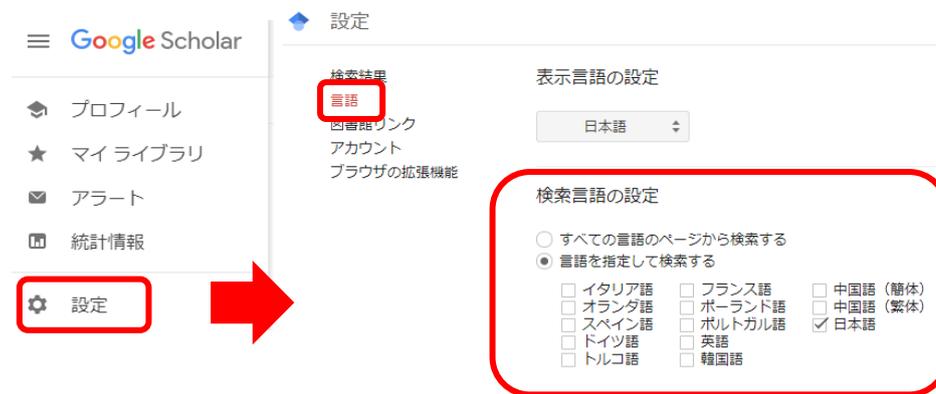
検索ボックスに調べたいトピックやキーワードを入力します。
フレーズの場合は、“ ”（ダブルクォーテーション）でフレーズをくくります。
（例） "machine learning" や "quantum physics" など。

2. 検索言語の選択

特定の言語に絞って検索することができます。

(例) 日本語の文献のみ検索したい場合

設定の「言語を指定して検索する」のラジオボタンが選択されていることを確認して、日本語以外のチェックボックスをはずしてください。



3. 検索結果の表示

キーワードを入力したら、Enter キーを押すか、検索アイコンをクリックします。

関連する論文、記事、本、特許などが一覧で表示されます。

4. 結果のフィルタリング

関連度順に並んでいるため、左側のメニューから検索結果を絞り込みまたは並び替えできます。

- ◇並び替え◇
- 期間指定
 - 関連性 or 日付順 (1年以内に公開された文献のみ)
 - 言語指定：すべての言語 or 日本語と英語
※他の言語の選択は「設定」からできます。
 - 種類：すべての種類 or 総説論文
 - 特許を含める、引用部分を含める



論理演算を用いた検索の仕方

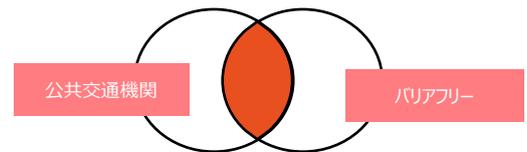
論理演算を使うことで、検索結果の表示件数を変更できます。

以下のような方法があります。

1. AND 検索

すべてのキーワードを含む結果を表示します。

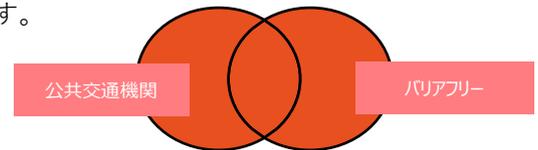
(例) 公共交通機関 AND バリアフリー



2. OR 検索

いずれか一方のキーワードを含めば、結果を表示します。

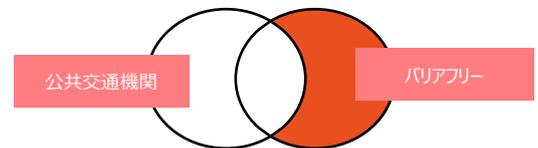
(例) 公共交通機関 OR バリアフリー



3. NOT 検索

特定のキーワードを除外します。

(例) バリアフリー NOT 公共交通機関



4. フレーズ検索（完全一致）

ダブルクォーテーションでくくったフレーズに完全一致する結果を表示します。

(例) "Barrier-free"

5. ワイルドカード検索

一部不明な単語を含むフレーズを検索します。

(例) "吾輩は*である" → 「吾輩は猫である」

※論理演算検索に用いる記号はデータベースによって違うことがあります。

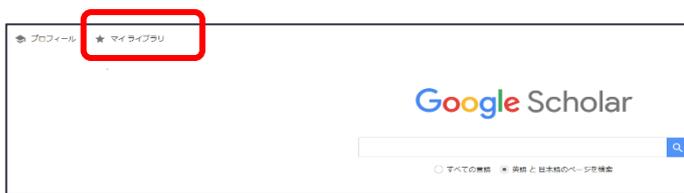
ヘルプや利用方法で確認しましょう。

マイブラの使い方

マイブラは、見つけた論文を保存し、後で簡単にアクセスできる機能です。
Google アカウントがあれば、利用できます。

1. マイブラのアクセス

Google Scholar の左上にある「マイブラ」をクリックします。
自分の保存した論文リストにアクセスできます。



2. 論文の保存

検索結果一覧の各論文の下にある「☆」アイコンをクリックすると、その論文がマイブラに保存されます。



3. ラベル付けで、保存した論文を整理

保存した論文にラベルを付けて分類・整理することができます。



4. 論文の一覧をエクスポート

マイライブラリ内の論文一覧をエクスポートできます。

文献管理ツールの形式に合わせた出力方法のほか、文献管理ツールを持っていない場合、CSVを選択するとExcelで表示することが出来、参考文献リストをつくることができます。



カスタマイズした使い方

フォロー・アラートの設定

特定の研究者をフォローしたり、キーワードを登録しアラートを設定すると、新しい論文や特定のトピックに関する更新情報をメールで受け取ることができます。

新しい情報をすぐにチェックできる便利な機能です。

※Google アカウントが必要です。

◆ 特定の研究者をフォローする

研究者を検索する

Google Scholar の検索ボックスに研究者の名前を入力して検索します。

論文の著者名の下に青いリンクが表示される場合、そのリンクをクリックすると研究者のプロフィールページにアクセスできます。

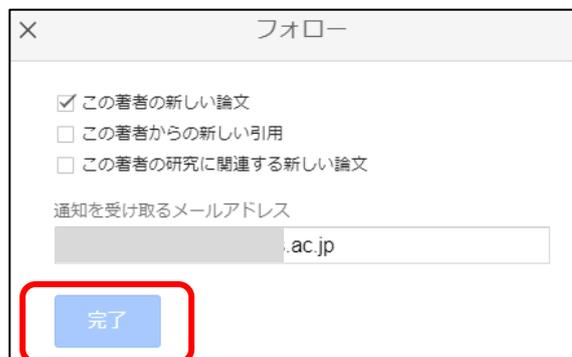
※研究者がプロフィールを作成していない場合、リンクは表示されません。

フォローする

研究者のプロフィールページの上部にある「フォロー」ボタンをクリックします。



フォローのオプション（新しい論文、新しい引用、著者の研究に関連する新しい論文など）が表示されるので、受け取りたい更新情報にチェックを入れ「完了」ボタンをクリックします。



※プロフィールがない場合は、研究者名やトピックのキーワードなどでアラート設定をします。
（その際、同一著者名が複数ある場合は、複数名分アラートされる可能性があります）

◆ 特定のトピックの最新情報を受け取る（アラート設定）

キーワードを検索する

検索ボックスに、フォローしたいトピックやキーワードを入力し検索します。
検索結果ページの左側メニューにある「アラートを作成」ボタンをクリックします。

アラートを作成する

ポップアップウィンドウに表示されるキーワードを確認し、「アラートを作成」ボタンをクリックして完了します。

設定が完了すると、関連するテーマで新しい論文が発表されたときに通知が届きます。



◆ アラートの管理（解除や編集）

フォローしている内容の管理・リストの確認は、Google Scholar にログインした状態で、右上の「マイライブラリ」や「アラート」をクリックします。

フォローしているキーワードや研究者の一覧が表示されます。

各アラートの右側にある「キャンセル」をクリックしてフォローを解除します。



引用情報の活用

検索結果一覧から、この論文を引用している他の論文や関連した論文を表示できます。

[公共交通施設におけるバリアフリー化を目的とした 下鉄駅の事例](#)

田尻要, 伊達志日流 - 都市計画論文集, 1998 - jstage.jst.go.jp
... ,東京都内の代表的な公共交通機関のひとつである地下鉄は、
迅速で、きわめて有効なアクセス手段であることから、福祉的配
★ 保存 99 引用 被引用数: 13 関連記事 全3バージョン

- 引用
MLA、APA、ISO 690 の 3 種の引用形式での文献情報表示
- 被引用数
この論文を引用している他の論文の数
- 関連記事
類似の文献
- 別のバージョンや、この論文が掲載されている他のデータベースやサイトへのリンク

※被引用数が多い論文とは、他の研究者が注目し参考にした論文といえます。

注意点

- フォロー、アラート機能を利用するには Google アカウントにログインしている必要があります。
- 草稿版やプレプリント版など複数のバージョンが掲載されていることがあります。版を確認してから利用しましょう。
- Web サイトに載っている論文も検索結果に表示されることがあります。リンク先の作成元や詳細情報を確認しましょう。